

6 愛防第 9 号  
令和 6 年 6 月 7 日

各関係機関・団体長 様

愛媛県病虫害防除所長

発生予察情報の送付について  
病虫害発生予察注意報（第 1 号）を下記のとおり発表したので送付いたします。

令和 6 年度 病虫害発生予察注意報（第 1 号）

令和 6 年 6 月 7 日  
愛 媛 県

病虫害名 果樹カメムシ類  
(チャバネアオカメムシ・ツヤアオカメムシ・クサギカメムシ)  
対象作物 もも、なし、すもも、かき、キウイフルーツ、かんきつ等

- 1 発生地域 県下全域
- 2 発生程度 多
- 3 注意報発表の根拠

- (1) 現在、うめ、もも等で被害を確認しており、無防除のももでは 80% を超える果実被害を受けている園地もある。
- (2) 県下 5 か所の集合フェロモントラップ調査では、天候等により増減しているが、4 地点で 5 月第 4 ～ 5 半旬に急増し、平年より多く誘殺されている (図)。
- (3) 2 月に採取した落ち葉中のチャバネアオカメムシの越冬量調査では、県下 40 か所調査の平均値によると越冬虫数は、県全体では 3.88 頭/2m<sup>2</sup> (平年: 0.97 頭/2m<sup>2</sup>) と多であり、特に南予地域では 6.5 頭/2m<sup>2</sup> (平年: 0.95 頭/2m<sup>2</sup>) と多かった (令和 5 年度 病虫害発生予察注意報第 1 号参照)。
- (4) 今後の気温上昇とともに越冬成虫 (7 月頃まで生存) の果樹園への飛来数が更に増加していくものと予想される。

- 4 防除上の注意等

- (1) かき、かんきつでは大量飛来し加害されると落果被害を引き起こす恐れがある。
- (2) キウイフルーツでは激しく加害された果実は表面に亀裂等 (写真) を生ずることがある。
- (3) もも、なしでは園内への飛来に注意し、早めに袋掛けを終える。
- (4) 果樹園への飛来は、曇天で夜温があまり下がらない日に多くなるので注意する。
- (5) 主に山林から果樹園に飛来するため、山林に近い園地での被害が多い傾向にある。
- (6) 園地で飛来を確認した場合には、各地域の防除暦に従い速やかに薬剤防除を行う。
- (7) 飛来が長期間続く場合は、継続的な防除が必要であるが、連続して防除を行うと、ハダニ類やカイガラムシ類の異常増殖 (リサージェンス) を引き起こす恐れがあるので注意する。
- (8) 薬剤は登録内容に応じて使用する (表 1) が、周辺作物や生物 (魚・蚕・ミツバチなど) に影響を及ぼさないよう注意して選択する。



写真 果樹カメムシ類に加害されたキウイフルーツ幼果に発生した亀裂（左）とコブ状症状（右）

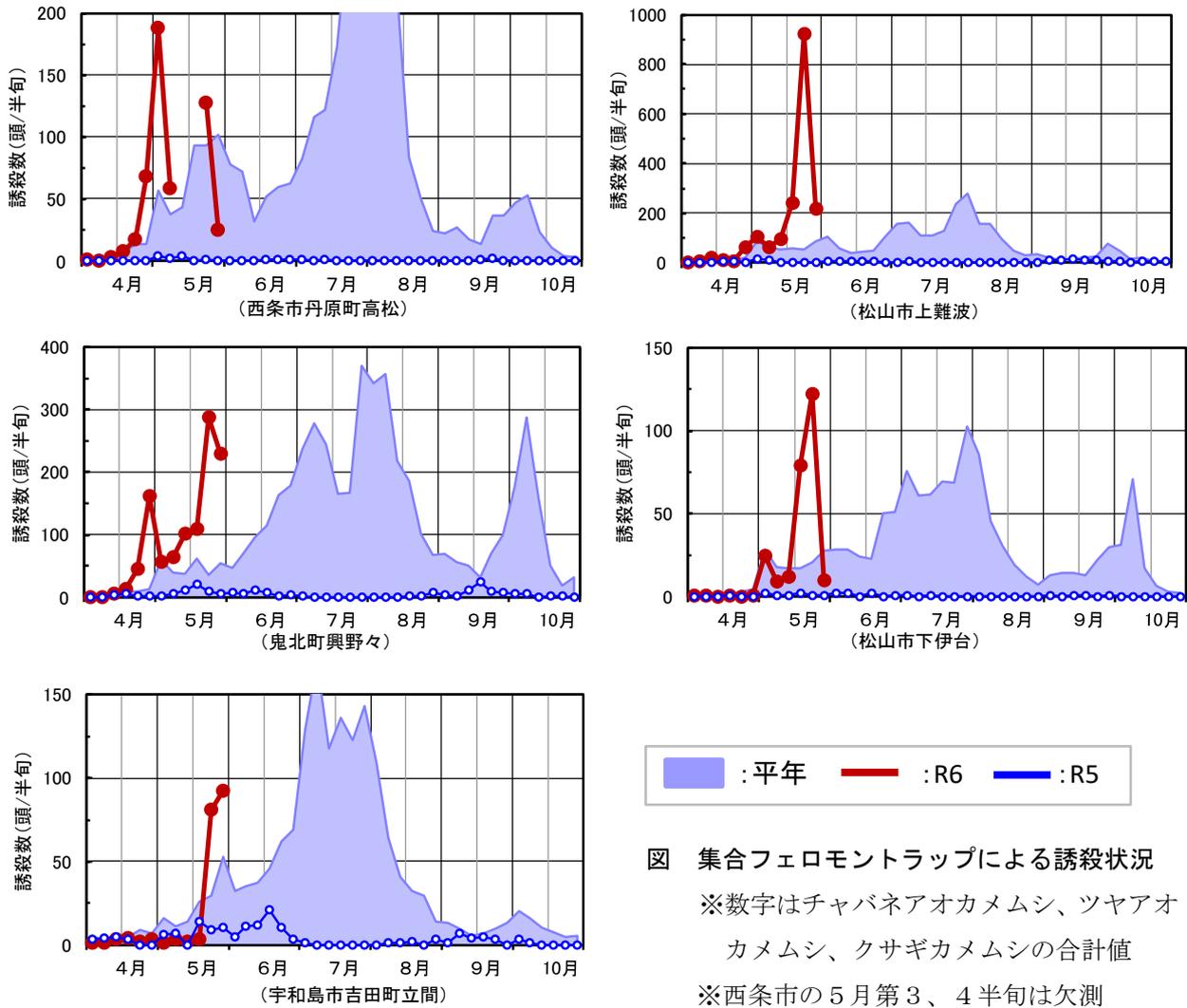


表1 主な防除薬剤一覧(令和6年度愛媛県農作物病虫害等防除指針より抜粋)

作物	IRAC コード	薬剤名	使用倍率	使用時期	使用回数	毒性		
						人毒	水産	
なし	1B	スミチオン水和剤40	1,000	(無袋) 収穫21日前まで (有袋) 収穫14日前まで	6回以内	普通	△	
	4A	アクタラ顆粒水溶剤	2,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△	
		アドマイヤー水和剤	1,000	収穫3日前まで	2回以内	劇物	△	
		スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	2,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△	
		ダントツ水溶剤	4,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△	
	3A	アグロスリン水和剤	1,500	収穫前日まで	3回以内	劇物	×	
		スカウトフロアブル	1,500	収穫前日まで	5回以内	劇物	△※	
		テルスター水和剤	2,000	収穫前日まで	2回以内	普通	△※	
		テルスターフロアブル	5,000	収穫前日まで	2回以内	劇物	×	
	もも	28	テツパン液剤	2,000	収穫前日まで	2回以内	普通	○
1B		スミチオン水和剤40	1,000	収穫3日前まで	6回以内	普通	△	
4A		アクタラ顆粒水溶剤	2,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△	
		アドマイヤーフロアブル	5,000	収穫3日前まで	2回以内	劇物	△	
		スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	2,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△	
		ダントツ水溶剤	4,000	収穫7日前まで	3回以内	普通	△	
3A		モスピラン顆粒水溶剤	2,000	収穫前日まで	3回以内	劇物	△	
		アグロスリン水和剤	2,000	収穫前日まで	5回以内	劇物	×	
		テルスターフロアブル	3,000	収穫前日まで	2回以内	劇物	×	
		ロディー乳剤	2,000	収穫前日まで	5回以内	劇物	×	
すもも	4A	スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	2,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△	
		ダントツ水溶剤	2,000	収穫3日前まで	3回以内	普通	△	
	3A	アグロスリン水和剤	1,000	収穫前日まで	2回以内	劇物	×	
		テルスターフロアブル	3,000	収穫前日まで	2回以内	劇物	×	
かき	1B	スミチオン水和剤40	1,000	収穫30日前まで	3回以内	普通	△	
	4A	アドマイヤー水和剤	1,000	収穫7日前まで	3回以内	劇物	△	
		スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	2,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△	
		アクタラ顆粒水溶剤	2,000	収穫3日前まで	3回以内	普通	△	
	28+4A	モスピラン顆粒水溶剤	2,000	収穫前日まで	3回以内	劇物	△	
		ダントツ水溶剤	4,000	収穫7日前まで	3回以内	普通	△	
		キックオフ顆粒水和剤	2,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△	
		アグロスリン水和剤	2,000	収穫前日まで	3回以内	劇物	×	
	3A	テルスター水和剤	2,000	収穫14日前まで	2回以内	普通	△※	
		テルスターフロアブル	5,000	収穫3日前まで	2回以内	劇物	×	
ロディー水和剤		1,500	収穫7日前まで	3回以内	劇物	×		
パーマチオン水和剤		2,000	収穫30日前まで	3回以内	劇物	×		
キウイ フルーツ	2B	キラップフロアブル	2,000	収穫7日前まで	2回以内	普通	○	
	4A	アドマイヤーフロアブル	2,000	収穫7日前まで	2回以内	劇物	△	
		スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	2,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△	
		ダントツ水溶剤	4,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△	
	3A	アディオン乳剤	2,000	収穫7日前まで	5回以内	普通	×	
		アグロスリン乳剤	2,000	収穫7日前まで	3回以内	劇物	×	
		テルスターフロアブル	3,000	収穫前日まで	2回以内	劇物	×	
		アドマイヤーフロアブル	2,000	収穫14日前まで	3回以内	劇物	△	
	かんきつ	4A	ダントツ水溶剤	4,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△
			アクタラ顆粒水溶剤	2,000	収穫14日前まで	3回以内	普通	△
スタークル/アルバリン顆粒水溶剤			2,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△	
モスピラン顆粒水溶剤			2,000	収穫14日前まで	3回以内	劇物	△	
3A		モスピランSL液剤	2,000	収穫14日前まで	3回以内	劇物	△	
		ロディー乳剤	2,000	収穫7日前まで	4回以内	劇物	×	
		テルスターフロアブル	5,000	収穫前日まで	3回以内	劇物	×	

注1) 水産: 水産動植物への影響(表記については令和6年度愛媛県農作物病虫害等防除指針P.8参照)

注2) アドマイヤー水和剤及びフロアブル剤は、露地栽培については発芽期から開花期までは除く